

第27回 市長と話そう会

日 時：令和2年7月2日（木）10：30～11：10

場 所：武雄市文化会館 大集会室A

参加者：女性ネットワークたけお 会員19名



「女性ネットワークたけお」では防災研修を開催、その中で「市長と話そう会」を行い、災害時の避難、避難所運営等について貴重な意見交換となりました。

以下に内容を抜粋して掲載しております。

【市長より】

令和元年8月豪雨の際、多い日で460の方が避難所に避難をされた。今年はコロナウイルス感染防止より分散避難となり避難所が増えるので避難された皆さんにも運営の協力をお願いすることになる。また、女性の視点で避難所運営もできるかぎりでの協力をお願いしたい。

【意見交換】

(参加者)

「これからの避難」としての分散避難、避難場所はどこにいけばよいのか迷っている人がいる。再度教えていただきたい。

(市長)

コロナウイルス感染症防止より分散避難の必要があるため、市指定避難場所以外に自宅の2階、親戚、地区公民館等が避難所として考えられる。一人一人の状況に応じた避難となるので、市から「ここへ避難」の指示はしない。各自どうしたらいいのか災害が発生してからでなく今から話をしておいてもらいたい。

(参加者)

要支援者等を地域で把握し区長等へ公表できないか？事前の情報提供で災害時に確認ができる。

(市長)

要支援者についてはすでに台帳を作成、区長、民生委員等に配布している。また、随時更新していく。市内全世帯を把握するのは難しく自主防災組織でお願いしたい。まずは自分を助けるための準備を、同時に隣人、区の防災組織、団体でも災害の際どう助け合っていくのか話し合ってもらいたい。

(参加者)

避難訓練の実施、また災害時ネットワークの構築のため自主防災組織への働きかけをお願い

したい。自主防災組織が機能することで、災害発生時の地域内の把握ができる。

(市長)

武雄市総合防災訓練の実施について検討している。自主防災組織での避難訓練の実施を皆さんからも働きかけてほしい。また、女性の皆さんにも積極的に参加、話し合いの場で意見を出していただきたい。高齢者や子どもなど広い範囲で参加して防災意識を高めてもらいたい。

(参加者)

避難場所への女性の配置を。特に地域の女性の配置ができないか。ゆくゆくは避難所の運営を避難者も共にできるよう働きかけをお願いしたい。

(市長)

去年の災害から女性プライバシー確保が課題となっていた。皆さんからも避難所をどうしたらいいのか意見を言ってもらいたい。避難所では、昨年、炊出し協力いただき感謝していますが、今年はコロナでできないと考えている。ただ、自衛隊など公的機関の炊出し協力や避難所内での声掛け等できる範囲で担ってもらいたい。

(参加者)

市長の話聞いて市民がいつも災害のことを念頭に入れておかなければならないということが理解できた。武雄市は六角川に関係している。六角川には大小多くの河川が流れこんでいる。市、県の河川で去年の災害土砂等そのままになっている河川への対応を早急をお願いしたい。

(市長)

これまで市民へはコロナ対応での呼びかけが多かった。これから防災関係の呼びかけを行っていく。また、六角川の掘削は今年、大町町まで終了予定。高橋排水機場ポンプ等が増える計画が予定されているがなるべく早く進めてもらう方向で働きかけている。市の河川については計画的にやっている。住民の皆さんは浚渫されてないと不安になるので再度関係機関へ積極的に言っていきたい。